

ステンレス製床板用グレーチング 歩行用 FB


●限界スパン表

型 式	メインバー の寸法 mm	メインバー ピッチ mm	質 量 kg/m ²	許 容 たわみ	設 計 荷 重			
					3.5kN/m ² (357kgf/m ²)		5.0kN/m ² (510kgf/m ²)	
					限界スパン mm	たわみ mm	限界スパン mm	たわみ mm
FB30-20	FB20×4	30	25.6	1/300	1070	3.5	950	3.1
				1/500	900	1.7	800	1.6
FB30-25	FB25×4		31.4	1/300	1340	4.4	1190	3.9
				1/500	1130	2.2	1000	1.9
FB30-32	FB32×4		40	1/300	1720	5.7	1530	5.0
				1/500	1450	2.9	1290	2.6
FB30-38	FB38×4		46.8	1/300	2040	6.7	1810	5.9
				1/500	1720	3.4	1530	3.0

- ❖たわみ1/500 (人が歩行時に不安を感じないたわみ) 人の歩行の頻度が多い場所。
- ❖たわみ1/300 (人が歩行時に多少不安を感じるたわみ) あまり人が歩行しない場所。
- ❖限界スパンは使用する諸条件によって異なりますので、あくまで上記の1/500・1/300は参考です。

●歩行仕様

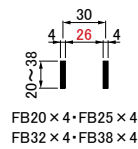
※9.80665N=1kgfにて計算

設置場所	荷重条件	荷 重
歩 行 	等分布	3.5kN/m ² (約357kgf/m ²)

※
建築基準法施行令第85条
(い)の欄(5)その他の場合の
数値を適応。
詳細は資料編21-44ページ参照。

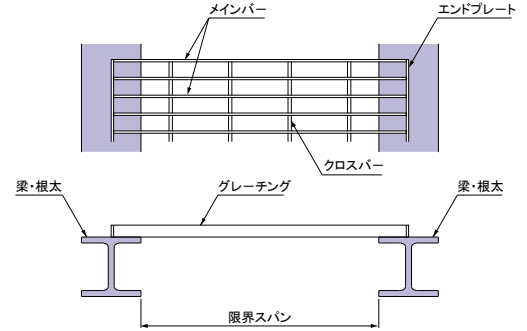
●メインバーの詳細

ノンスリップタイプも製作できます。



●備 考

- 床板用グレーチングは、基本的にメインバーの両端部に梁・根太等の受けを必要とし、梁・根太等の支間は各グレーチングの限界スパン値を越えないようにしてください。



- グレーチング1枚あたりの

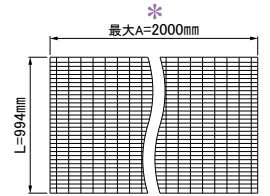
最大寸法は、

- *2000mm×994mm以内に抑えてください。

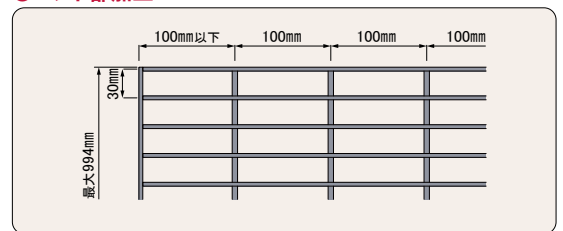
- グレーチングの運搬時・敷き込み時のグレーチング質量を考慮してください。

(質量は●限界スパン表参照)

- グレーチングは、蓋1枚あたり4ヶ所、クリップ等にて固定してください。
(7-9ページ 固定例 参照)



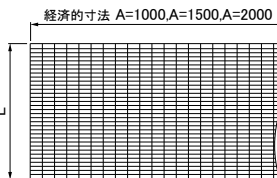
●エンド部加工



●経済的寸法について

普通目ピッチ@30(H=20・25・32・38)

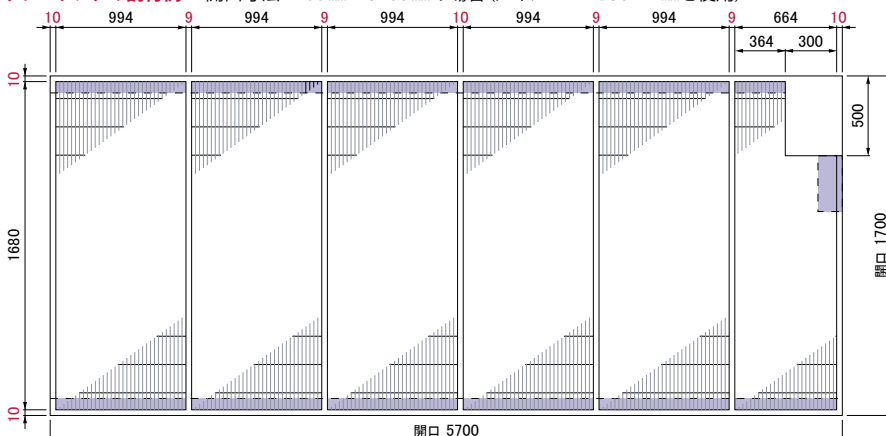
- グレーチングのL寸法は、経済的寸法のL=994または、484を多くご使用ください。
- その他のL寸法とする場合は、メインバー目取表の目取りの良い寸法としてください。
- L寸法が標準以下となる場合は、L=394を最低寸法の目安としてください。
- グレーチングとグレーチングの間のクリア(スキマ)にて調節してください。(クリア6mm~25mm)
- A寸法については、A=1000, A=1500, A=2000が経済的です。



メインバー目取表

メインバーの本数/本	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
メインバーの幅/Lmm	394	424	454	484	514	544	574	604	634	664	694	724	754	784	814	844	874	904	934	964	994

グレーチングの割付例 開口寸法 1700mm×5700mmの場合(メインバー FB38×4mmを使用)



グレーチングを上記のように効率の良い寸法にし、両端のクリアは10mm程度、グレーチングとグレーチングの間のクリアは均等に振り分けてください。

グレーチングの片側の標準受幅は、50mm程度をお勧めいたします。
中間の受材の幅は100mm以上をご使用ください。

部は受けが必要箇所